

# 100周年記念事業募金 追加募集

神撫100周年記念会館—Astra Hall—  
「寄附者銘板」に  
お名前が掲載されます！



神撫100周年記念会館



記念会館玄関横の寄附者銘板

創立100周年記念事業募金へのご協力誠にありがとうございました。

寄附者銘板については、2021年3月17日までの高額寄附者を掲載させていただいておりますが、寄附の最終締切後、再作成し、差し替える予定です。

2019年3月1日以降の寄附合計額が以下の方を銘板に掲載し、末長く顕彰させていただきます。

個人は10万円以上  
法人は50万円以上  
回生・部活の同窓会等非営利の任意団体は30万円以上

ご寄附については「 」同封の払込票または以下の口座をご利用ください。

三井住友銀行 長田支店 普通 3963811  
神撫会 代表者 玉田敏郎

※払込票を使用しない振込みの際には、お名前とともに神撫会会員は回生、PTA、一般の区別について、神撫会事務所までメール等でお知らせ願います。  
※この寄附については「寄附金控除」の対象にはなりません。

在校生の応援のため、是非ご協力をお願いいたします。

文責：募金委員会副委員長 山中勲

本件問合先：神撫会事務所 電話 078-631-9730  
メール nagata-shinbukai@theia.ocn.ne.jp

## 第二部寸劇主演

志垣 昇（73回生・演劇部）

私は式典の寸劇にて「髭の男」といふ近藤英也先生を演じさせていただきました。今まで、好青年から老人、女子高生など様々な役を演じてきましたが、実在の人物を演じるというのは初めてで面白かったです。というのも近藤先生には、もと「開門の章を作った人」や「偉大な人」等、「見る人」の中にイメージがあります。なので、役作りはそういった点を骨格にして自分の中にある彼らしい材料を肉付けするという作業が必要でした。いつもは骨の成分から自分で作っていたので初めから土台があるのはありがたくもあり難しくもあって新鮮でした。このような貴重な体験ができたこと、記念式典という素晴らしい舞台に出演できたこと、とても光栄に思います。誘ってくださった益田先生、舞台関係者の方々、見てくださった皆様、本当にありがとうございました。



## 吹奏楽部演奏

西村 美桜（74回生・吹奏楽部）

ブーツ。幕が開き、ライトが部員たちを燦燦と照らす。独特な木の香りが肺を満たす。楽器へ送られた息は、ファンファーレとして客席へ溶けていく。照明が眩しい。この感覚、実に1年3か月ぶりだ。ふと周りを見渡すと、頼もしく、懐かしい三年生の先輩方の姿。このメンバーで演奏できるのはこの日が最初で最後である。その舞台が神戸国際会館、それも百周年記念式典というのはなんと喜ばしいことであろうか。本当に幸せな時間であった。

## 音楽部演奏

津守 蘭（74回生・音楽部）

今回音楽部として百周年記念式典に出演させて頂いたこと、校歌の指揮をさせて頂いたこと、とても貴重で、先輩方から脈々と受けつがれてきた

百年という歴史の重みを感じずにはいられません。同時にコロナで満足に練習もできず、いろいろな行事やコンクールが中止となる中、決して素晴らしい演奏ではなかったかもしれませんが、卒業生や在校生の皆さんを前に、演奏の機会を与えて頂いたことに感謝しています。

## 来賓接待

鎌田 穂風（74回生・茶華道部）

数ある高校の中から一校選び、志し、入学した長田高校。百周年という節目の年に在校生として式典に携われることは光栄でした。

私たち茶華道部は、当日、来賓の方々にお茶をお出ししました。失礼のないようにと、普段、部活で習っている礼儀作法を意識しながら、来賓の方が来られる前から何度も練習を重ねました。心を込めておもてなしすると、とても緊張してしまいましたが、貴重な体験をさせて頂きました。

## 来賓案内

砂村 優衣（74回生・野球部）

教育長やPTA会長など、普段接さない方々の誘導などをさせて頂き、身だしなみや言動など改めて見直すことが多く、とても貴重な経験となりました。また、このような方々とお話しさせていただく中で、本当にたくさんの方に応援してもらっているのだということを実感しました。近畿大会の先にあるもつと素晴らしい景色をより多くの方とみられるよう、責任をもって練習に励みたいと思います。ありがとうございました。